



2011年3月14日

計画停電に伴うスプリネックス用バッテリー能力低下について

3/11の東北地方太平洋沖地震による福島原発事故に伴い、東京電力管内で計画停電が実施されます。

日本消防検定協会認定品で有るスプリネックスに内蔵しています停電対応用バッテリーは規準に従い停電1時間後も機能をする様に製作されています。

この度の計画停電は通常の一時的停電では無く、3時間に及ぶ停電が1日に数度有り、これが4月迄続く見込で有ります。これは消防設備全般に起こる事ですが長時間停電の対応は致しておりません。スプリネックスも1次電源が長時間供給されない場合バッテリー能力低下により正常に作動しない事が起こり得ます。

1次電源が復旧すれば自動的に充電を開始しますが、1日に何度も停電しますと十分に充電出来が出来ませんので、計画停電時間中の十分なバックアップが出来ない事をご理解願います。

又、監視電圧が得られない状態まで低下しますと本体内で警報ブザーが鳴動致します。警報ブザーは他の故障や火災に於いても鳴動しますので、原因を確認願います。バッテリーの電圧降下の場合本体内「予備電源試験」スイッチを押して頂くと電圧計の指示が約20Vまで低下しますので他の原因と判別出来ます。

警報ブザーが鳴動しましたら本体内部のブザー停止スイッチを「停止」にして下さい。

復電後、ブザー停止スイッチを「定位」に戻し忘れない様にご注意願います。

本体から異常監視移報をとっている場合は自火報受信機等に異常移報が出ますのでご注意願います。復電によるバッテリー充電で異常移報は復旧致します。

モリタグループ

株式会社モリタ防災テック

宮田工業株式会社

株式会社モリタユージー